

---

---

# 平成20年度(第52期)第2四半期決算説明資料

(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

---

---



2008年11月14日

---

## <目次>

---

### 1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略	2
(2) 事業の取り組み内容について	3
(3) 売上高および営業利益の推移	4
(4) 品目別売上高の推移	5
(5) 収益関連指標	6
(6) 総資産・純資産	7

### 2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境	8
(2) 諸施策	9
(3) 業績の見通し	10
(4) 利益配分の方針	11

---

---

# 1. 決算の概況

## (1) 損益計算書、貸借対照表の概略

(単位:百万円)

	連 結			個 別		
	07/9期	08/9期	前期比(%)	07/9期	08/9期	前期比(%)
売 上 高	6,571	6,184	94.1	5,895	5,364	91.0
営 業 利 益	1	37	—	△ 8	60	—
経 常 利 益	57	32	55.6	38	64	169.3
当 期 純 利 益	△ 100	△ 9	—	△ 109	30	—

(単位:百万円)

	連 結			個 別		
	07/9期	08/9期	増減	07/9期	08/9期	増減
資 産	11,767	10,868	△ 899	10,582	9,545	△ 1,036
負 債	4,914	4,894	△ 19	4,508	4,258	△ 249
純 資 産	6,853	5,974	△ 879	6,074	5,286	△ 787
総 資 産	11,767	10,868	△ 899	10,582	9,545	△ 1,036

## (2) 事業の取り組み内容について

### ・ 営業

- ・ お得意様への販売価格交渉並びに新規分野への市場開拓

### ・ 製造、購買

- ・ 生産リードタイムの短縮、生産性の向上に引き続き取り組む。
- ・ 国内外を問わず、グローバルな材料調達で原価低減を図る。

### ・ 研究開発

- ・ 環境にやさしい省エネ、低騒音の製品開発  
(小型・低消費電力となるDC(直流)ポンプのシリーズ化)
- ・ ポンプ応用技術を活かしたユニット製品の開発(下半期に予定)

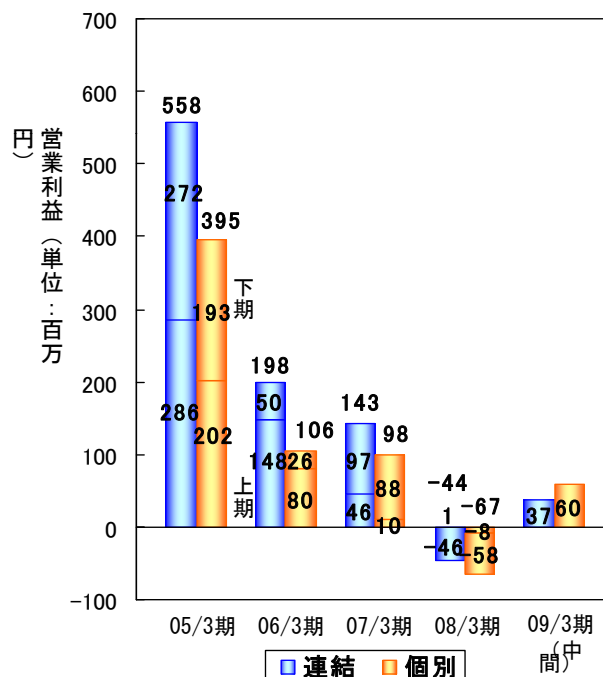
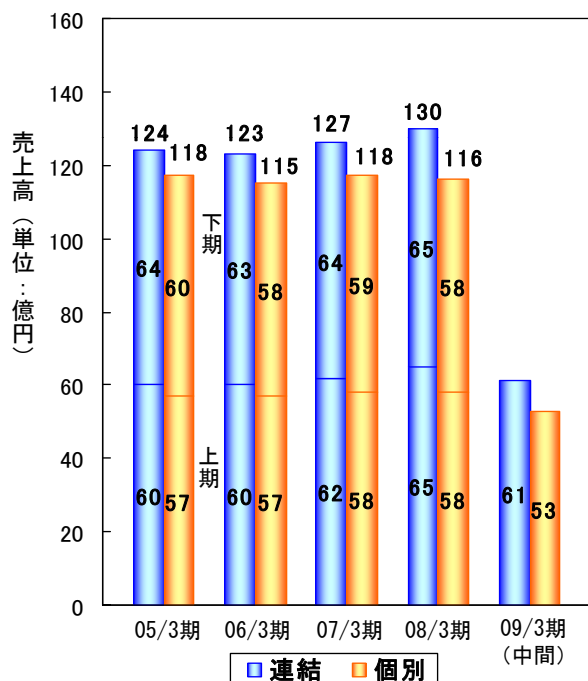
### ・ その他

- ・ 金融商品取引法で求められる内部統制システムの構築
- ・ 環境側面から空調用の電力を制御する設備を導入し、夏場のピーク電力を抑え、省電力化するとともに、電気料金の削減に努める。



### (3) 売上高および営業利益の推移

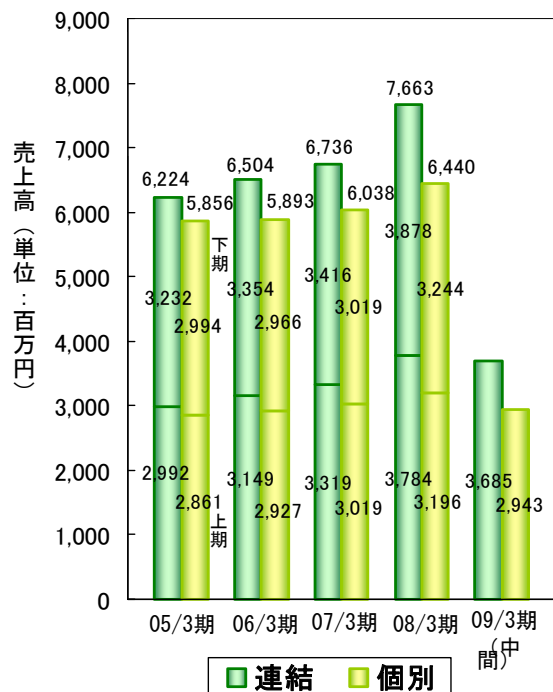
- ・売上高においては、第2四半期以降、世界的な景気の減速によりお得意様からの受注が減少
- ・営業利益においては売上高の減少、また鉄鋼材の高騰など非常に厳しい状況であるが、諸経費の圧縮により、営業利益を確保



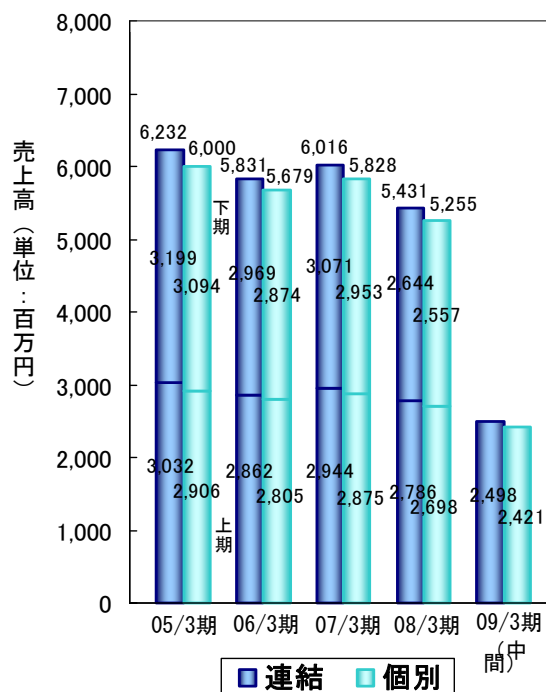
### (4) 品目別売上高の推移

- ・モータ・ポンプとも売上高は減少、特にポンプでは住宅設備用や半導体製造装置用は回復の兆しが見えない。

#### 【モータ】



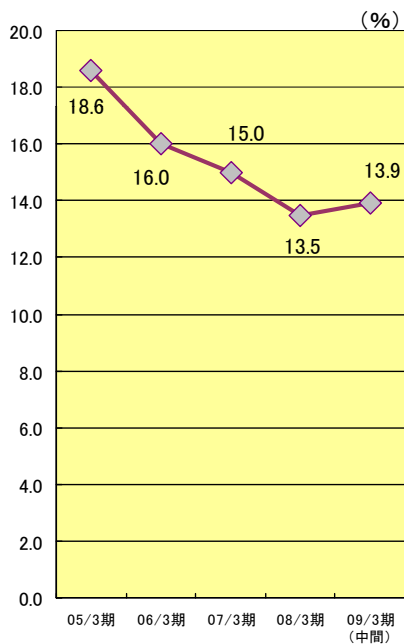
#### 【ポンプ】



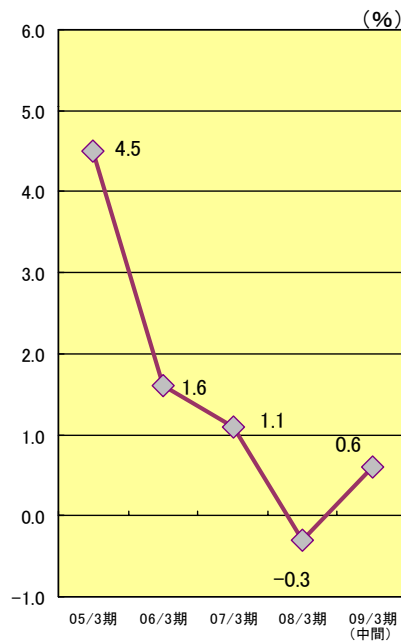
## (5) 収益関連指標(連結)

- ・ 春先からの鉄鋼材の価格上昇など、原材料は高値で推移しているが、諸経費の削減により収益性を改善
- ・ 08年9月末時点において、有価証券や為替の変動により評価損を営業外費用及び特別損失で計上

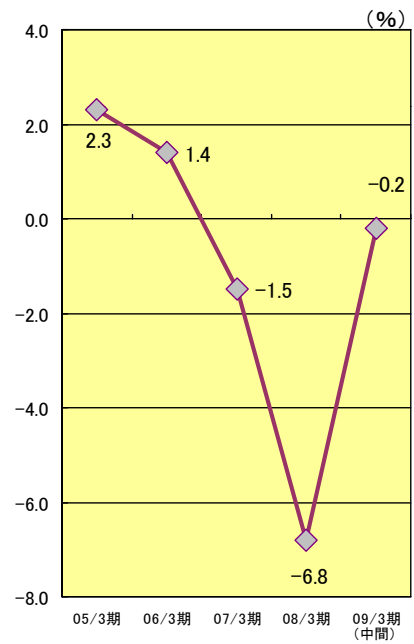
### 売上総利益(率)



### 営業利益(率)



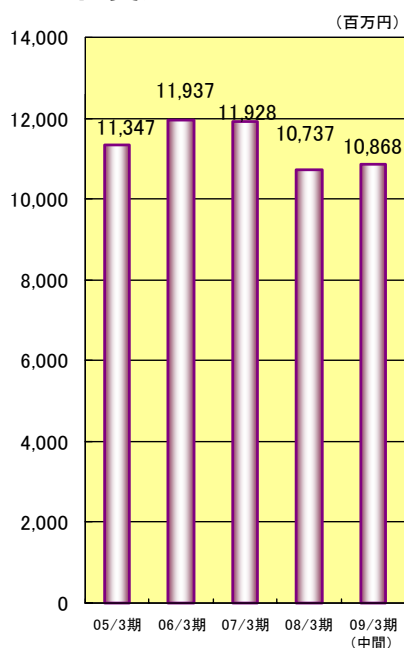
### 当期純利益(率)



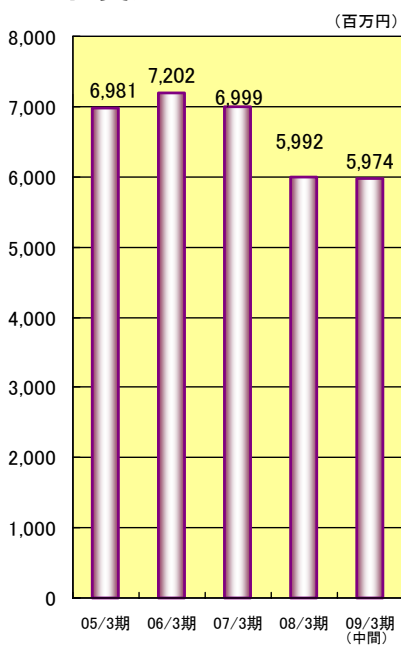
## (6) 総資産・純資産(連結)

- ・ 資産については、主にたな卸資産の減少があったものの売掛金、現金及び預金が増加
- ・ 負債については、主に支払手形及び買掛金が増加
- ・ 純資産については、主に四半期純損失の計上

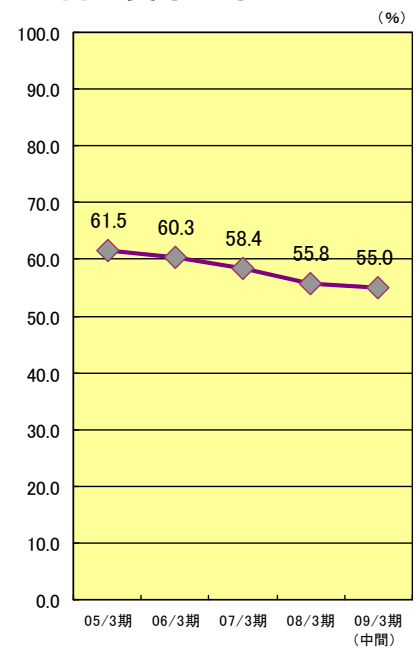
### 総資産



### 純資産



### 自己資本比率



## 2. 今後の取り組みについて

---

### (1) 経営環境

#### ◆ 経済状況

- ・サブプライム住宅ローン問題を背景とするアメリカ経済の後退や、株式為替市場の変動、また原油価格の動向等から、国内においても景気の後退により、企業収益は非常に厳しい状況で推移するものと考えられる。

#### ◆ 業界動向

- ・モータを製造している大手家電メーカーでは産業用モータの値上げを実施するなど、業界として製品価格への転嫁が進行している。
- ・昨年の改正建築基準法の施行以降、住宅着工件数は依然として低調に推移し、住宅関連設備は回復の兆しが見られない。
- ・第2四半期以降世界的な景気の後退により、当社の関係するすべての業界は需要減少となる。

#### ◆ 現況

- ・既存のお得意様からの受注は、第2四半期以降、前年を大きく下回っている。
- ・売上高の減少を補うべく、新規用途の新製品開発を行い受注を急ぐ。

### (2) 諸施策

#### ・ 営業

- ・市場で優位性のあるDC（直流）ポンプの拡販により、ポンプ製品の受注回復を図る。
- ・モータやポンプを応用した、ユニット製品の販売で新規市場を開拓し、既存製品の売上減少をカバーする。

#### ・ 製造、購買

- ・一気通貫生産方式を確立し、生産リードタイムの短縮、生産性の向上、仕掛品在庫の圧縮を進める。
- ・グローバルな部材の調達を進めコストダウンを図る。

#### ・ 研究開発

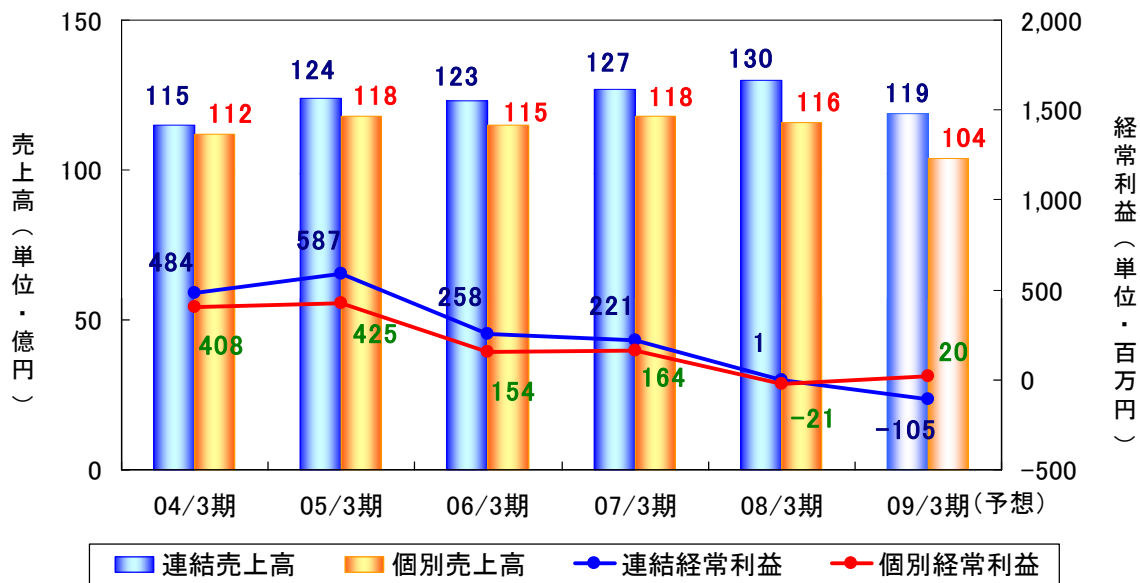
- ・独創的な製品開発を行い、市場での優位性を築く。
- ・環境に適合した低消費電力のDC（直流）モータ・ポンプのシリーズ化を進め、市場のニーズに応える。

#### ・ その他

- ・金融商品取引法で求められる内部統制システムの確立を図る。

### (3) 業績の見通し

#### [売上高・経常利益のグラフ]

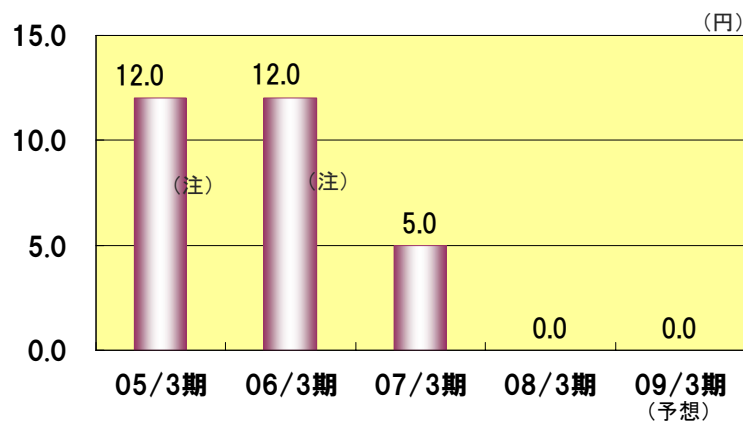


個別：個別においては、売上高の減少が見込まれるが、諸経費の削減により経常利益は前年と比べ増益を見込む。  
 連結：連結においては、売上高は主に個別の減少要因となるが、経常利益においては、受注減少分を諸経費の削減等で補えず、経常損失となる見通し。

### (4) 利益配分の方針

- ・平成21年3月期末の配当については、現状の業績予想を鑑み大変遺憾ながら無配の予定
- ・今後配当については、業績を向上させ安定的な配当を行うように務める。

#### 配当金の推移



(注) 1株につき2株の割合で株式分割を行う前の配当金となります。

## おことわり

---

この資料に掲載しております将来の計画や予想数値については、現在（平成20年11月）入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであり、実績の業績などは、今後の様々な条件・要素によりここに掲載する内容と異なる場合がございます。

なお、この資料は、その実績を確約および保証するものではありませんのでご了承下さい。

### お問い合わせ先

三相電機株式会社  
統括管理部 経営企画課  
〒671-2288  
兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号  
TEL 079-266-1200  
FAX 079-266-1206  
E-mail [sanso@sanso-elec.co.jp](mailto:sanso@sanso-elec.co.jp)